



日の出川公園クリスマスイルミネーション

12月19日、日の出川公園に新しい地域イベントが誕生しました！

初めてのイベントとして、町内会と地域の多様な団体が力を合わせ、子どもから大人まで安心して楽しめる交流の場を企画。寒空の下、色とりどりの光に包まれた日の出川公園には笑い声が響き、国籍を超えた参加者同士の新たなつながりづくりの場がうまれました。



イルミネーションと音楽が作る 小さな非日常

夕暮れを過ぎると公園中央の大木がLEDライトで輝きだし、芝生エリアにはオーナメントが幻想的な空間を演出しました。

会場にはフェリス女学院大学の学生によるミニコンサートの音色が響き、訪れた人々は足を止めて聴き入り、冬ならではの、地域のあたたかな夜が広がりました。



フェリス女学院大学



不老町ケアプラザ

子どもたちに笑顔を、クッキーのプレゼント

このイベントを楽しみにしていたのは、子どもたちも同じ。サンタクロースからクッキーがプレゼントされるコーナーには長い行列ができ、開始1時間で配布終了となり、大盛況でした。クッキーは福祉施設が作成しました。

神奈川県看護協会の握力測定には100名を超える方々が参加され、占いやキッチンカーなどの企画も大人気で楽しさだけではなく、地域福祉の貢献にもつながる取り組みとなりました。



山吹町、富士見町、長者町3・4丁目
連合町内会

塚本承一郎会長に インタビュー

■きっかけ 前会長の思いを受け継いで

「開かれた町内会」という前会長の理念に共感し、会長を引き受けました。副会長から「公園をイルミネーションで飾りたい」という提案があり、「みんながつながる地域づくり補助金」申請の企画案を役員会で提示したところ、全員一致で賛同。前会長が築いてきた「積極的に地域と関わる姿勢」が共有されていたからこそスムーズな合意を得ることができたと思います。

■広がったつながり 企業・学校との協力

町内会のそれぞれの地域活動で築き上げたネットワークが大きな基盤に。さらに企画趣旨を丁寧に説明し、何度も足を運ぶことで協力の輪が広がっていきました。不老町ケアプラザが共催として力を貸してくれたことも心強い支えになりました。

■今後の展望

町内会員・非会員、世代や文化の違いに関係なく、地域の誰もが顔を合わせられる場をつくりたい。今回のような気軽に参加できるイベントを続け、自然に“つながり”が生まれる地域を育てていきたいと考えています。



中国語・英語
で作成されたチラシ
【協力：なか国際交流ラウンジ】

Lale バックナンバーはこちら⇒⇒⇒

